

畜産振興へ2団体

八戸で設立記念式典

「東北全日本畜産経営者協会」と「青森県全日本畜産経営者協会」の設立記念式典が4日、八戸プラザホテルで開かれた。両協会は2009年3月設立の全日本畜産振興事業中央会の地方組織で、全国に先駆けて発足した。

東北全日本畜産経営者協会

青森県全日本畜産経営者協会



設立記念式典であいさつをする青野正宣会長
4日、八戸プラザホテル

を見据え、青森県と東北地方の畜産の振興に寄与したい」とあいさつした。

記念講演では、金子ファーム（七戸町）の金子春雄社長が「地域と共存した資源循環型大規模畜産への挑戦」と題して、自身の取り組みを紹介した。

式典に先立ち開かれた設立総会で、選出された会長以外の役員は次の通り。（敬称略）

◇東北全日本畜産経営者協会▽理事Ⅱ三品清重、高橋靖忠、高橋勝

中央会は、商系（民間企業）飼料会社の配合飼料を購入する畜産経営者らで構成。地方組織は、地域のさまざまな要望を国や関係機関に伝え、その実現を目指す役割を担うことを目的に発足した。式典には関係者約90人が出席。両協会の初代会長に就任した青森県配合飼料価格安定基金協会理事長の青野正宣氏が「当協会の役割

◇青森県全日本畜産経営者協会▽理事Ⅱ川

村高明、金子春雄、石澤直士、小林福正

商系の畜産経営者組織

全日畜産協会が発足

八戸で総会

目的。商系飼料会社と取引している畜産経営者はこれまで、飼料会社ごとの荷受組合に加盟しているものの行政との関与は薄く、畜産振興にかかる国の補助事業を受ける機会がないうといった問題があったという。

県全日畜の青野会長は「現場から声を上げて、国や県の畜産行政に少しでも自分たちの意見を反映させていきたい」と話した。

農協系統外の、商系飼料会社と取引する県内の畜産経営者らでつくる県全日本畜産経営者協会(県全日畜)が4日、発足した。昨年3月、全国組織の全日本畜産振興事業中央会(全日畜)が設立された

が、下部組織となる県単独協会が発足したのは本県が第1号。

八戸市の八戸プラザホテルで同日、県全日畜と、東北6県の東北全日本畜産経営者協会の設立総会を開催。県全日畜、東北全日畜の両協会会長に、青森ポ

ートリー(階上町)の青野正宣社長が選出された。県全日畜には、県内の生産者約600人が加盟した。同協会は、商系畜産

経営者からの意見や要望を取りまとめて行政に提言したり、国の畜産振興事業の情報を集め生産者に伝達し、健全経営につなげるのが